



上越総合病院 地域連携センター便り

2017
8月号

盛夏の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より当院に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、現在の日本は急速に高齢化社会を迎えていると報道等によく耳にしますが、ここ上越地域でもそれ以上のスピードで高齢化社会が進んでいると聞いております。当院におきましても、ここ2～3年の間で救急受診患者の増加が見られ、中でも高齢患者の増加が顕著な事から高齢化社会を実感しているところです。

来年は診療報酬と介護報酬の同時改定が6年ぶりに行われ、医療と福祉の一体化・地域包括ケアシステム・病院機能再編・地域医療構想などが益々進むと思われ、急性期治療を経過した患者の受け入れ及び在宅復帰支援を行う「地域包括ケア病棟」を視野に入れた当院の体制作りが課題であると言えます。さらに併設の介護老人保健施設「アルカディア上越」と連携をしておりますが、それだけでは足りません。これに対応するため近隣医療機関並びに福祉施設の方々と連携を深め、より一層ご高齢の方が生涯安心して暮らせる上越地域になれば良いと思います。

当院の地域連携センターでは体制の強化を図っていますが、まだまだ機能は十分とは言えないところで、地域の先生方にご協力をお願いすることもあると思いますが、ご不明な点はいつでもご連絡頂ければ幸いに存じます。

連日の猛暑で、皆様方にはご自愛頂きますとともに、今後ともご支援とご協力を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

総務課長 吉原 知則



医療機関様からのご紹介・お問い合わせは

上越総合病院 地域連携センター
電話 025-524-3000 (代表)
FAX 025-524-3140 (直通) まで

6月24日に久々の災害訓練が行われました。日本海側における津波は、国交省の想定では5～10分で10メートルの津波と公表されました。そこで今回の訓練では地震発生直後に一階にいる人すべてに2階までの緊急避難をしてもらい、発災後30分で津波襲来の危機は回避されたとして、引き続き多数傷病者受け入れ対応訓練に移行するという2段構えの訓練概要でした。さてそこで、2階以上にいた人はこの津波避難中に何をなすべきなのでしょう。今回の訓練で浮かび上がったテーマの一つでした。

もう一つの今回の訓練の課題は、当院で初めて作成されたアクションカードの実効性を検証することでした。アクションカードとは、災害発生時に部厚い災害マニュアルを繰っての行動は非現実的です。そこでなすべき行動を簡潔に、時系列的に記載し、それを見れば即座に行動が起こせるといふものです。訓練の結果、今回作られたアクションカードにはまだ多くの欠陥があることがわかりました。訓練の実感が冷めやらぬ内に部署ごとに見直しを行い、より実効性の高いアクションカードの完成を目指して欲しいと思っています。その作業自体が何よりの訓練になる筈です。

もう一つ今回の訓練で強く感じられたことに情報の取り扱いがあります。次々と入ってくる情報の全てが同じ比重で重要なわけではありません。「情報」の重要性が強調される余りついすべての情報を貯め込みがちですが、錯綜する情報の中でそれ程重要ではない情報も少なくないはず

です。これを取捨選択することで無批判に行われて来た作業の効率化を図ることもできるのではないかなと思いました。



収容された模擬患者の診察(1)



収容された模擬患者の診察(2)



車椅子で来院された模擬患者のトリアージ



被災地外搬送のための救急隊への引き継ぎ



ヘリ搬送(1)



ヘリ搬送(2)



ヘリ搬送(3)



訓練終了後 総指揮者の相田先生の挨拶

医事課 紹介

医事主任 三輪 直希

平素より大変お世話になっております。

当院の医事課について紹介させていただきます。現在当院には、1日当たり外来患者841名、入院患者292名が受診されます。その患者さんの受付・会計・診療報酬請求・カルテ管理、院内情報システム管理、統計調査、他部署からの各種依頼（むちゃぶりを含む）と多岐にわたる業務を職員10名・委託職員22名で行っております。

医師・看護師などと連携・協働しながら、チーム医療の一員として医療・患者サービスに関わり、あらゆる角度から「医療」という分野に貢献し、どのように対応するかを考え業務を行う事を心がけております。

また、今後の課題として請求業務、知識について習熟し、関係部署とも業務連携を強めながら収入確保対策や効率的な業務運営を実践し、病院の健全経営を支援していくことを考えております。

近隣医療機関の皆様には、入院中受診等でご連絡させていただく場合がございますが、その際はよろしくお願いいたします。



2017.7.28 第42回直江津祇園祭 大民踊流しが開催されました。上越総合病院からは約100名の職員が参加しました。



新潟厚生連 上越総合病院 医師一覧表

H29年8月現在

内科	呼吸器	外山 讓二	外科	乳腺外来	藤田 亘浩
	呼吸器	月岡 啓輔			伊達 和俊
	呼吸器	竹内 寛之			小出 則彦
	消化器	佐藤 知巳			藤田 加奈子
	消化器	合志 聡			平島 浩太郎
	消化器	鈴木 庸弘	呼吸器外科		尾嶋 紀洋
	消化器	禿 晃仁	脳神経外科		江塚 勇
	消化器	佐藤 毅昂			荒川 泰明
	腎・糖尿病	亀田 茂美		非常勤医師	亀山 茂樹
	腎・糖尿病	米沢 正貴	産婦人科		相田 浩
腎・糖尿病	上野 光博			小幡 宏昭	
糖尿病内分泌	笹岡 利安			廣井 威	
糖尿病内分泌	岡部 圭介			奈良本 葉月	
内科 (非常勤医師)	血液	野村 憲一	耳鼻咽喉科	非常勤医師	高倉 大匡
	和漢	藤本 誠		非常勤医師	阿部 秀晴
	和漢	野上 達也	眼科		佐藤 昭一
	呼吸器	清水 夏恵			阿部 慎也
		大堀 高志		非常勤医師	東條 直貴
		麻生 祐嗣		非常勤医師	三原 美晴
		今西 明		非常勤医師	宮腰 晃央
総合診療科		近藤 優美		渡部 公正	
		籠島 充	整形外科		相場 知宏
		長谷川 智也		非常勤医師	東條 猛
		中澤 峻		非常勤医師	金森 昌彦
	西脇 溪	非常勤医師		元村 拓	
神経内科		福原 信義	泌尿器科		里見 定信
		鈴木 隆			安川 瞳
	非常勤医師	春日 健作		非常勤医師	渡部 明彦
	非常勤医師	徳武 孝允	皮膚科		竹上 與志昌
	非常勤医師	小松 潤史	救急科		丸山 正則
	非常勤医師	畠山 公大	麻酔科		朝日 丈尚
	非常勤医師	赤木 明生			加藤 晋
	土谷 修一			加藤 麻紀子	
小児科		中山 有美	放射線科		加藤 洋
	非常勤医師	雅楽 川隆	病理診断科		関谷 政雄
歯科口腔外科		桑原 徹	検査科		巻 淵 隆夫

早朝検査の実施について(予約患者様のみ)

当院では、外来患者様の待ち時間を短縮する取り組みとして、検査の受付時刻を従来の8時30分より30分早めて行っております。それにより患者様にはスムーズに診察を受けて頂けると考えております。